

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	実施後のアンケートでは、次回も参加したい旨の回答も多く、事業の必要性は高いと考える。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	比較的利用が少ない平日の昼間という時間帯での教室の実施であるため、施設の有効活用の点からも、またスポーツに触れ合う機会の創出という点からも有効性は高いと考える。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域スポーツの普及・振興という目的から、指定管理者が持つ専門的ノウハウを活用した事業でもあり妥当であると考えられる。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	指定管理者というツールを有効に活用した事業であり効率性は高いと考える。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

より多くの参加者を確保するために募集PRの方法をさらに工夫する必要があるが、基本的には、今後も継続して実施する方向で、実施内容や実施時期について、十分に指定管理者と協議し、指定管理者のノウハウからの提案・計画を引き出し、より充実したものとする。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				スクールの開催	スクールの開催	スクールの開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	867	0	1,008	0	0
事業費 (A)		0	0	867	0	1,008	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	86.01				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.11	0.11	0.11	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	924	924	924	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	1,791	924	1,932	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性

● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合

<判断理由>

平成21年度も継続して、指定管理者の業務として実施する。指定管理者と十分連携し、またノウハウを持つ指定管理者から有効、効率的で魅力ある実施内容を引き出し、より充実したものにする。

平成21年度 of 取組方針

平成21年度も継続して実施する方向で、指定管理者と十分検討を行い、より魅力ある事業実施を模索する。

課長コメント

今後も指定管理者のノウハウを生かすと共に身近なスポーツとして多くの人々の集えるような魅力あるスクールの開催を実施できるように進めて行きたい。

5. 事業展開の経緯

	平成17年度事業分	平成18年度事業分	平成19年度事業分
進捗状況	—	—	①：予定どおり
主な取組と成果			平成18年度に引き続き、馬入サッカー場指定管理者である湘南ベルマーレスポーツクラブにより、指定管理者の業務の一つである地域スポーツ普及・振興に関する業務として、親子サッカー教室、レディースサッカー教室及びソフトボール教室を実施した。その結果、スポーツ・レクリエーションの活動充実や地域の交流を深め、世代を超えたふれあいの輪が広がった。
検証結果	—	—	A：成果があがった
	平成19年度への展開	平成20年度への展開	平成21年度への展開
今後に向けた課題			より多くの参加者を確保するために募集PRの方法をさらに工夫する必要はあるが、基本的には、今後も継続して実施する方向で、実施内容や実施時期について、十分に指定管理者と協議し、指定管理者のノウハウからの提案・計画を引き出し、より充実したものとしたい。
事業の方向性	—	—	現状の規模で継続
取組方針			平成21年度も継続して実施する方向で、指定管理者と十分検討を行い、より魅力ある事業実施を模索する。
事業区分	—	—	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。